

仮想化に特化した Veeam が提供する 監視・管理 ツール

vCloud Director

VMware vSphere

Microsoft Hyper-V

Veeam Backup & Replication

データ収集
エージェントレス

Veeam ONE

リアルタイムな監視

リソースのレポート

キャパシティプランニング

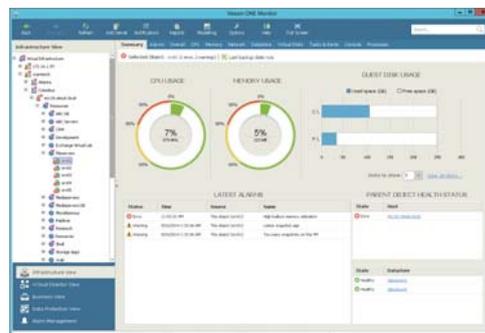
動的なカテゴライズ

24 時間 365 日 リアルタイムなモニタリング / アラート

VMware、Hyper-Vの仮想インフラ、Veeamのバックアップをエージェントレスで24時間365日、リアルタイムに監視します。これによりアプリケーションやユーザに対して影響が発生する前に問題を通知するよう設計されています。

さらに、200以上のアラートとそれに対応したナレッジベースが組み込みでインストール直後から使用でき、ドリルダウンで詳細な情報も簡単に参照できるため問題発生時にも迅速な対応が可能です。

- VM、ホスト、ハードウェアのモニタリング、アラート
- ゲストOSのプロセス監視と制御
- イベントとパフォーマンスの相関表示
- ワンクリックで簡単にドリルダウン可能
- 豊富なナレッジベース
- 編集可能な200以上の組み込みアラート

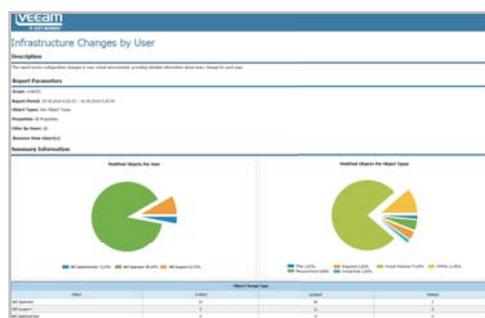


モニタのVMサマリ

キャパシティプランニングとカスタマイズ性の高いレポート

自動的に仮想環境のコンポーネント、構成設定、パフォーマンスとデータ保護の効率化に関する情報を検出、収集します。収集したデータを分析して仮想マシンのパフォーマンス、リソース使用の効率化、キャパシティプランニング、変更追跡といった包括的で視覚的なレポートとダッシュボードを提供します。

- カスタマイズ可能な組み込みのダッシュボード
- 100以上のレポートテンプレート
- レポートのパーツを組み合わせ可能
- Excel、PDF、Word形式での出力、メール配信



変更追跡レポート

- | | |
|---------------|-----------------|
| レポート例 | ・アクティブなスナップショット |
| ・キャパシティプランニング | ・ガーベージファイル |
| ・VMの最大・最小サイズ | ・変更管理: 5W1H |
| ・VMの変更されたブロック | ・ホスト、VMのパフォーマンス |

動的なカテゴライズ : Business View

技術的な観点(クラスタ、ホスト、仮想マシン、データストアなど)ではなくビジネスの観点(事業体、部門、目的、SLAなど)から分類してグループ化するための柔軟かつ動的な方法を提供します。仮想環境のオブジェクトを分類するための規則とポリシーを定義するだけで、オブジェクトの属性の検知とモニタリングから、オブジェクトを割り当てるグループの作成まで、後はすべてVeeam ONEに任せることができます。



インフラストラクチャビューとビジネスビュー

Veeam Backup & Replication との連携

Veeam ONEはVeeam Backup & Replicationとシームレスに統合されています。これにより仮想インフラを運用するためのデータ保護、監視、管理をVeeamからまとめて実施可能です。

- 25以上の専用レポート
- バックアップ・レプリケーション状況の監視
- 各コンポーネントと健全性チェック
- バックアップ構成に関する仮想インフラストラクチャの診断
- ジョブ設定の変更追跡レポート



Veeam Backup & Replicationの状況
ダッシュボード

デプロイメント・プロジェクト

仮想環境にVMを追加する際などにリソースが足りるか不安になったことはありませんか？デプロイメント・プロジェクトではVMやホストの追加/削除といった構築計画をシミュレーションできます。複数のプロジェクトを同時進行するような複雑な構築でも、その完了日まで考慮してシミュレーションを実施、リソース不足が発生しない、安全な構築が可能です。



Veeam Backup & Replication の診断

Veeam Backup & Replicationのバックアップジョブの処理効率を上げる方法は複数ありますが、これまでは散在しているデータを方々からかき集めて、手探りで考えなければなりません。Veeam ONEのBackup Infrastructure Assessmentレポートでは、パフォーマンス改善のために、これまで散在していたデータを自動的に集約、それをもとに最適な構成か判断し、改善策を提示します。



マルチテナント対応のモニタリングとレポート ユーザごとに範囲を制限 (VMware 限定)

ユーザはvCenter ServerやvCloud Directorですでに割り当てられているユーザ権限に基づき、Veeam ONEで操作可能な範囲が制限され、情報が取捨選択されていることによりトラブルシューティングがより簡単になります。

vSphere タグの自動割り当て

vSphere Tagsでは従来のフォルダのような単層での分類ではなく、タグにより重層的分类が可能となるため、vSphere管理者から人気を得つつある機能です。

しかし、vSphereからは自動的にタグを割り当てることができません。そこで、Veeam ONE Business Viewで設定を行うことで、タグの割り当てを、Veeamが代行し、自動的にタグ割り当てを行うことが可能となります。

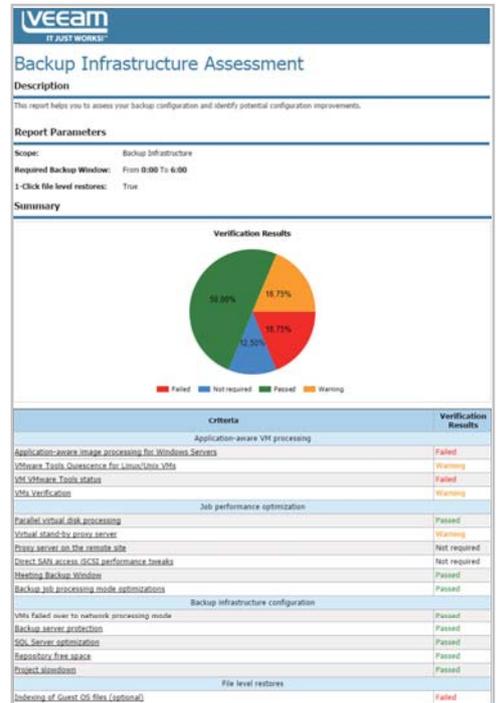
これにより、仮想マシンが自動展開される環境において管理可用性が大幅に向上します。

カスタム レポート ビルダ

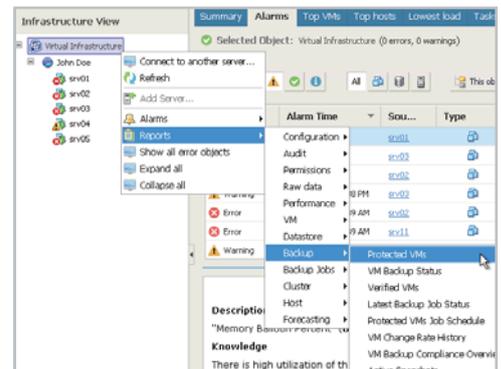
運用のために必要なデータを取得するために、複数のレポートを出力し、見比べる必要はありません。Veeam ONEの柔軟なレポート作成機能により、複数のレポートの必要な項目だけを選択し、新しいカスタムレポートを作成できます。これにより管理者が本当に必要とする項目だけを、扱いやすい形式で一つにまとめたドキュメントを作成し、管理をより効率的に行えます。

Veeam ONE 対応プラットフォーム

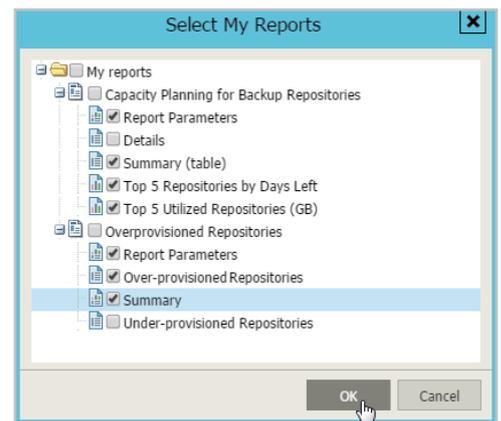
VMware	プラットフォーム	VMware vSphere 4.1, 5.x, 6.x
	ハイパーバイザ	ESX(i) 4.1, 5.x, 6.x vSphere Hypervisor *無償版ESXiもサポート
	ソフトウェア	vCenter Server 4.1, 5.x, 6.x vCloud Director 5.5, 5.6, 8.0, 8.10
Hyper-V	プラットフォーム	Microsoft Windows Server 2008 R2 SP1, 2012, 2012 R2, 2016
	ハイパーバイザ	Microsoft Windows Server Hyper-V 2008 R2 SP1, 2012, 2012 R2, 2016 Microsoft Hyper-V Server *無償版ESXiもサポート
	ソフトウェア	Microsoft System Center Virtual Machine Manager 2008 R2 SP1, 2012, 2012 R2, 2016



バックアップインフラの診断レポート



範囲制限されたユーザでのモニタ表示



カスタムレポートビルダ例